

令和4年度 明正小学校外部評価報告書

評価委員：岩崎滋委員長、府川晃久副委員長、押田まり子委員、金子久江委員、
広井良典委員

報告書作成者：副校長 長井順

評価時期 令和4年12月

1 重点目標の評価

重点目標1「学ぶ楽しさの共有」について

- ① 児童は授業の内容を理解し、漢字や計算力などの基礎・基本を身に付けることができたか。
・あてはまる(70.0%) ・あてはまらない(0%) ・わからない(30.0%)
- ② 児童は学習することの楽しさを感じながら主体的に取り組んでいたか。
・あてはまる(80.0%) ・あてはまらない(0%) ・わからない(20.0%)

重点目標2「想像力・創造性の育成」について

- ① 児童は友達の良さを見つけたり、思いやりのある行動をとったりしていたか。
・あてはまる(90.0%) ・あてはまらない(0%) ・わからない(10.0%)
- ② 児童は状況に応じたあいさつをしていたか。
・あてはまる(80.0%) ・あてはまらない(0%) ・わからない(20.0%)
- ③ 児童は様々な集団活動に自主的に取り組んでいたか。
・あてはまる(100%) ・あてはまらない(0%) ・わからない(0%)

重点目標3「健康な体の育成」について

- ① 児童は、体育朝会やなわとび大会・マラソン大会等の取組を通して、運動する楽しさを味わっていたか。
・あてはまる(90.0%) ・あてはまらない(0%) ・わからない(10.0%)
- ② 児童は、手洗い・うがいなどの健康を維持する活動や食育の授業を通して、心身の育成や健康について意識を高めていたか。
・あてはまる(90.0%) ・あてはまらない(0%) ・わからない(10.0%)

2 今後の改善に向けた意見

- ・あいさつについて、子どもはしていると答えているが、教師や保護者の評価は低い。あいさつしているつもりでも、相手に伝わっていないということではないかと考えられる。日常的な取り組みや大人が範を示すなどして、あいさつが日常化される学校をめざしたい。
- ・行事やイベントを通して参加者の交流を図り、相手を思う気持ちやモラルの醸成にもつなげたいと思うが、イベントの存在を知らない人が多いように思う。もっとPRして参加者を募り、交流を深めたい。
- ・コロナが落ち着いてきたところで、保護者や地域の方々が学校を訪れる機会を増やしてほしい。学校の様子がよくわかっていないことが多い。今後は改善されるであろう。

3 その他の意見

- 保護者からの意見や要望は、PTAにも挙げていきたい。保護者も学校や幼稚園に投げるのではなく、しっかりと関わっていかなければならないのではないか。
- PTA行事等を生かして、保護者同士の交流も行っていきたい。